

令和7年度 一般会計決算附属資料

商工観光部 主要な施策の成果

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																																											
	項	01 総務管理費	111,989千円		111,989千円	0千円	100.0 %																																													
	目	17 諸費					(参考)当初予算額	課	商工振興課																																											
	事業	07 原油価格・物価高騰対策支援給付金給付事業					122,278千円																																													
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 111,900千円																																																
目的	エネルギー価格の高騰が続く中、エネルギー価格高騰対策支援給付金を支給し、市内事業者等の負担軽減と経営の安定化を図る。																																																			
主要な事務・事業の概要	○エネルギー価格高騰対策支援給付金 111,989千円				【交付内訳】																																															
	【対象経費】 事業の用に供する光熱費 (電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油及び混合油) 【対象者】 市内に事業所等を有する個人・法人(農林漁業者含む) 【対象期間】 令和7年1月～令和7年12月 【給付率等】 (1) 事業所光熱費対策分 ・対象期間に支払った光熱費のうち任意に選択した3か月分の合計額の10%を交付 ・限度額：法人等：300千円、個人事業主等：100千円 (2) 運輸車両等燃料費対策分 ・対象期間に支払った運輸車両の運行に要した燃料費の10%を交付 ・車両1台当たり限度額：普通自動車／30千円、小型自動車／25千円、軽自動車／5千円				<table><tr><th rowspan="2">所管</th><th colspan="2">全体</th><th colspan="2">内運輸車両等燃料費対策分</th></tr><tr><th>交付件数</th><th>交付額</th><th>交付件数</th><th>交付額</th></tr><tr><td>商工振興課</td><td>1,135件</td><td>90,086千円</td><td>30件</td><td>8,927千円</td></tr><tr><td>障害者福祉課</td><td>23件</td><td>3,075千円</td><td>19件</td><td>1,344千円</td></tr><tr><td>長寿福祉課</td><td>67件</td><td>10,210千円</td><td>45件</td><td>2,776千円</td></tr><tr><td>農業振興課</td><td>199件</td><td>7,889千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>農林整備課</td><td>3件</td><td>460千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>海業水産課</td><td>9件</td><td>269千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>計</td><td>1,436件</td><td>111,989千円</td><td>94件</td><td>13,047千円</td></tr></table>					所管	全体		内運輸車両等燃料費対策分		交付件数	交付額	交付件数	交付額	商工振興課	1,135件	90,086千円	30件	8,927千円	障害者福祉課	23件	3,075千円	19件	1,344千円	長寿福祉課	67件	10,210千円	45件	2,776千円	農業振興課	199件	7,889千円	0件	0千円	農林整備課	3件	460千円	0件	0千円	海業水産課	9件	269千円	0件	0千円	計	1,436件	111,989千円	94件
所管	全体		内運輸車両等燃料費対策分																																																	
	交付件数	交付額	交付件数	交付額																																																
商工振興課	1,135件	90,086千円	30件	8,927千円																																																
障害者福祉課	23件	3,075千円	19件	1,344千円																																																
長寿福祉課	67件	10,210千円	45件	2,776千円																																																
農業振興課	199件	7,889千円	0件	0千円																																																
農林整備課	3件	460千円	0件	0千円																																																
海業水産課	9件	269千円	0件	0千円																																																
計	1,436件	111,989千円	94件	13,047千円																																																
					成果・課題	○原油価格・物価高騰に対して給付金を交付することにより、市内事業者及び市内農林漁業者等の負担軽減と経営の安定化を図ることができた。 ○引き続き、市内の景況やエネルギー価格の動向に注視し、支援策について必要に応じて検討を行う。																																														

予算科目	款	05 労働費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 労働諸費	5,578千円		5,579千円	1千円	99.9 %		
	目	01 労働諸費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	01 人材確保・就職促進対策事業					7,915千円		
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	諸収入 移住支援事業補助金返還金 450千円					
目的	京丹後市地域雇用促進協議会が実施する人材確保・就職促進のための事業に必要な費用の一部を負担し、市内事業所における人材の確保を支援する。また、資格取得等を目指す労働者や求職者及び職業訓練事業実施団体を支援し、雇用の安定化と就職促進を図るとともに、職場環境の整備を行う事業者を支援し、人手不足の解消を図る。								
主要な事務・事業の概要	○京丹後市地域雇用促進協議会負担金 400千円 【参考】雇用促進協議会 総事業費： 1,300千円 ◆雇用促進事業、人材育成事業、運営経費等 1,128千円 ・きょうたんご就職フェア（参加者52人、参加企業42社、内定者9人） ・高校生就職状況セミナー、情報交換会（地元高校7校、参加企業24社） ◆広報事業等 90千円 ・協議会ホームページ運用・更新 ◆研修事業費 82千円 ・ふるさとバス運行費 【参考】市地域雇用促進協議会受託事業（厚労省委託事業） R7委託総額 18,482千円 ○事業費：2,639千円（合同企業説明会、事業所魅力向上セミナー等） ○人件費：1,906千円（事業推進員2人分） ○管理費：211千円（車両・パソコンリース、事務費等）		○職業能力向上支援補助金 423千円 ・交付件数：55件（交付者数：42人） 【補助率】研修受講料の2分の1以内（上限額：年間2万円／人） ○企業人材確保支援事業補助金 50千円 ・交付件数：1件（お試し就労人材確保事業） 【補助率】対象経費の1/2以内、上限50千円／1事業者 ○はたらく女性活躍応援事業補助金 1,426千円 ・交付件数：4件 【補助率】対象経費の1／2以内、上限500千円 ○有料道路通行料・駐車場使用料 14千円 ○過年度府支出金返還金（令和6年度移住支援事業補助金） 450千円 ※令和6年度移住支援事業補助金の交付対象者が、申請日から1年以内に就業先を退職し、返還規定に該当したため。						
	○丹後地域職業訓練協会運営費補助金 2,815千円 ・職業訓練講座： 17講座22コース実施（R6：22講座26コース） ・受講者：延べ183人（市内147人）（R6：延べ228人、市内163人）		成果・課題	○京丹後市地域雇用促進協議会の事業に対し負担金を支出し、雇用対策事業、人材育成事業等に取り組むことで、企業等の人材確保を支援した。 ○各種研修・職業訓練事業に対する支援を行い、労働者や求職者のスキルアップを図るとともに、求職者の就労を促すことができた。 ○引き続き、地元求職者やU・I・Jターン希望者と企業のマッチングを図り、人材確保や就労を促進するため、地域雇用促進協議会の取組を支援する必要がある。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	1,566千円		1,645千円	79千円	95.1 %		
	目	01 商工総務費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	50 商工総務一般経費					2,221千円		
まちづくり 27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源						
目的		商工行政を推進するために必要な一般経費及び公用車の維持管理費							
主要な事務・事業の概要	○旅費（近畿経済産業局派遣職員研修旅費）		106千円						
	○消耗品費等（事務用品等）		167千円						
	○公用車管理費（商工観光部管理台数：8台）		1,293千円						
	・燃料費		553千円						
	・修繕料		612千円						
	・手数料（自動車登録手数料、廃車手数料等）		54千円						
	・自賠責保険料		35千円						
	・テレビ受信料		12千円						
・自動車重量税		27千円							
				成果・課題	公用車のメンテナンスや点検などを的確に行うことで、職員が業務に支障なく取り組めた。				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	72,082千円		72,187千円	105千円	99.8 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額		
	事業	01 商工会助成事業						75,000千円	課
まちづくり 27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興							
目的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営指導及び相談対応事業、地域産業を総合的に振興する事業、織物指導等小規模生産基盤整備事業に対して支援を行い、本市商工業の総合的な振興・発展を図る。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○小規模事業経営支援事業費補助金 64,582千円 経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援 ・経営改善普及指導事業分 60,944千円 経営改善普及事業指導職員による小規模事業者への経営指導・相談事業 ・地域総合振興事業分 3,638千円 市場開拓、機械金属販路開拓、小売商業振興等 ○織物指導等小規模生産基盤整備事業補助金 7,500千円 丹後の織物技術を維持し製品の品質確保を図るため、延べ1,263件の織物技術指導と45件の小規模な生産基盤整備を支援								
	成果・課題	○商工会による小規模事業者への巡回指導や織物事業者への技術指導及び小規模生産基盤整備への支援を行い、事業者の経営安定化に寄与した。 ○物価高騰や人手不足など経営環境が厳しさを増す中、生産性向上や資金繰り対策など、事業者の経営課題に寄り添った支援を行う商工会の役割は重要であり、引き続き支援が必要である。							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	38,000千円	38,000千円	0千円	100.0 %		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	02 丹後地域地場産業振興センター運営支援事業				38,000千円		
まちづくり 27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源					
目的		公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設の管理、丹後ブランド製品の販売、地場製品の販路拡大、新商品の開発支援、人材育成、情報の収集及び発信など地場産業の振興を図る各種事業を支援し、本市地場産業の総合的な振興を図る。						
主要な事務・事業の概要	○丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 38,000千円 【主な実施事業】 ◆新商品・新技術開発事業 高機能急速冷凍装置の活用による新サービス開発事業 (延べ利用回数 139回、実利用事業者数 19事業者) ◆人材育成事業 食品品質向上セミナーの開催 参加事業者28業者(34人、うちオンライン16人) ◆需要開拓事業 ・Tango Good Goods認定及び販売促進事業 令和7年度認定数：35事業者、55商品 ・「Tango Good Goods見本市」の開催 11月22日～23日 宮津市民体育館 来場者数4,800人、出展社数31社、商談件数15件 ・他地域の物産展、イベント等への出店 新規イベント(地方フードセレクション2025、Good Nature Station主催のPOP UP)の参加や、丹後王国「食のみやこ」との連携による丹後製品の販路開拓や流通支援を実施			◆地場産品展示普及支援事業 地場産品の常設展示販売及びECサイト、ふるさと納税サイトでの販売 (187事業者、約3,800品目、年間売上約78,034千円) ◆誘客販売事業 ・野村克也ベースボールギャラリーの運営事業 ・たんご朝市の開催(毎週日曜日) ・アミティ感謝祭 4月27日開催：来場者455人 11月2日開催：来場者350人				
				成果・課題	○セミナー等を支援することで、事業者が抱える販路拡大等の課題解決に向けた取組ができた。 ○「Tango Good Goods」の認定、見本市の開催、ECサイト等での販売など、地場産品の認知度向上及び販路拡大に向けた取組を支援した。 ○引き続き、センターによる商談機会の創出や販路拡大の取組を支援するとともに、老朽化が進んでいる施設について、優先順位による計画的な修繕を支援する必要がある。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																							
	項	01 商工費	29,834千円		29,836千円	2千円	99.9 %																									
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課																							
	事業	03 金融支援事業					43,932千円																									
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金			15,018千円																								
		繰入金		ふるさと応援基金繰入金			1,000千円																									
目的	市内商工業者の運転資金や設備資金の借入に係る信用保証料及び利子に対して補助を行うことにより、資金調達の円滑化と借入に係る負担の軽減を図り、市内中小企業者の経営の安定化と成長の促進を図る。																															
主要な事務・事業の概要	○信用保証料補助金 13,139千円 京都府中小企業融資制度又は京丹後市商工業振興融資制度を利用して借入れる際に支払った保証料を1事業者40万円を限度に交付（借入額に応じた30%～80%の補助率）				○新型コロナウイルス感染症対策利子補給金 6,901千円 市内商工業者が活用した京都府、京丹後市及び政府系金融機関の制度融資（令和2年1月29日以降の借入）に係る利子に対し、初回利子支払い月から36月目までは借入利率の0.46%分を、37月目からは借入利率の0.23%分を1事業者当たり100万円を限度に交付																											
	<table><tr><td>業種</td><td>建設業</td><td>製造業</td><td>卸売・小売業</td><td>飲食店 宿泊業</td><td>その他</td><td>合計</td></tr><tr><td>件数（件）</td><td>28</td><td>14</td><td>20</td><td>18</td><td>28</td><td>108</td></tr><tr><td>交付額（千円）</td><td>3,264</td><td>2,009</td><td>2,691</td><td>2,302</td><td>2,873</td><td>13,139</td></tr></table>				業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店 宿泊業	その他	合計	件数（件）	28	14	20	18	28	108	交付額（千円）	3,264	2,009	2,691	2,302	2,873	13,139	<table><tr><td>交付件数</td><td>164件</td></tr></table>					交付件数	164件
	業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店 宿泊業	その他	合計																									
	件数（件）	28	14	20	18	28	108																									
	交付額（千円）	3,264	2,009	2,691	2,302	2,873	13,139																									
交付件数	164件																															
○経営力向上企業支援利子補給金 108千円 市内商工業者が経営力向上計画の認定を受け、市内民間金融機関又は政府系金融機関から設備資金の融資を受けた場合にその利子について、借入利率のうち0.1%分を1事業者当たり年度内20万円を限度に交付				○無利子・無担保融資対応利子補給金 9,686千円 市内商工業者が活用した京都府及び政府系金融機関の制度融資について、無利子期間（国による利子補給期間）が終了した後の利子に対し、初回利子支払月から36月目までの借入利率の0.23%分を1事業者当たり100万円を限度に交付																												
<table><tr><td>交付件数</td><td>4件</td></tr></table>				交付件数	4件	<table><tr><td>交付件数</td><td>327件</td></tr></table>					交付件数	327件																				
交付件数	4件																															
交付件数	327件																															
				成果・課題	○資金借入に伴う信用保証料や利子の負担を軽減することにより、事業者の経営の安定化と成長の促進に資することができた。 ○国による利子補給期間が終了する事業者に対し、無利子・無担保融資対応利子補給金により支援ができた。 ○国際情勢の影響等により地域中小企業を取り巻く状況は厳しく、引き続き利子補給を実施するとともに、資金調達時の負担軽減に効果的な信用保証料補助を充実する必要がある。																											

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	6,770千円		6,777千円	7千円	99.8 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	04 商工業支援事業					2,900千円		
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金				1,120千円
目的	新商品の開発、販路開拓、知的財産権取得、事業承継、SDGsの取組による開発、織物業や機械金属業等製造・加工業における経営力向上のための設備投資など市内商工業者の新たな取組への支援を行い、地域経済の活性化を図る。			府補	地域商業活性化・物価高騰対策事業費補助金(1/2)				2,263千円
主要な事務・事業の概要	○商工業支援補助金				2,244千円				
	中小企業等が行う販路開拓などの取組を支援								
	事業		件数	交付額					
	ブランド戦略PR事業（新商品・新製品開発事業）		1件	300千円					
	ブランド戦略PR事業（国内外販路開拓促進事業）		9件	1,601千円					
	知的財産権取得支援事業		1件	144千円					
	SDGs取組支援事業		2件	199千円					
	○地域商業活性化事業費補助金				4,526千円				
	市内商店街の自主的に行う事業を京都府と連携して支援								
	・金刀比羅商店街の老朽化した街路灯改修を支援				934千円				
	・御旅市場のアーケード補修を支援				3,592千円				
	成果・課題	○商工業支援補助金にて市内事業者の新たな挑戦や取組を支援することで、地域経済の活性化に資することができた。 ○府と連携し、老朽化した街路灯やアーケードの計画的な補修を行った。							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費	12,609千円		12,623千円	14千円	99.8 %								
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課						
	事業	05 地域経済循環促進事業					0千円								
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 11,548千円											
目的	京丹後デジタルポイントを活用したプレミアム付デジタル商品券を発行し、物価高騰に対する生活支援と地域の消費喚起を促進する。														
主要な事務・事業の概要	○消費喚起ポイント事業補助金（プレミアム付デジタル商品券） 12,609千円 ◆プレミアム付デジタル商品券プレミアム分 12,059千円 ◆事務費（消耗品費、印刷製本費、新聞折込手数料） 550千円 【内容】 ・ 1,000円で1,200円分の利用ができるデジタル商品券 ・ 購入上限：1会員番号につき上限10セット発行（令和7年12月22日から上限10セットを30セットに拡充） ・ 利用及び販売期間：令和7年11月1日から令和8年3月15日 【実績】 <table><tr><td>販売実績</td><td>商品券利用額</td><td>うち、プレミアム分利用額</td></tr><tr><td>60,324セット</td><td>71,919千円</td><td>12,059千円</td></tr></table> 【加盟店数】 160店舗（令和8年3月末時点）				販売実績	商品券利用額	うち、プレミアム分利用額	60,324セット	71,919千円	12,059千円					
					販売実績	商品券利用額	うち、プレミアム分利用額								
60,324セット	71,919千円	12,059千円													
成果・課題	○プレミアム付商品券事業を契機に加盟店が9店舗増加した。 ○物価高騰に対する生活支援と消費喚起を促進した。 ○利便性向上に向け、引き続き加盟店を増加させる必要がある。														

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	8,186千円		8,221千円	35千円	99.5 %			
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課	
	事業	06 自然あふれるビジネスモデル推進事業					8,221千円			
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金				600千円	
				寄附金	ふるさと応援寄附金				200千円	
目的		テレワーク推進戦略に基づき、市内事業者で構成するコンソーシアムを中心に持続可能なビジネスモデルの構築を目指した事業を推進することにより、都市部企業・人材の誘致や、交流人口・関係人口の拡大を図り、将来的な定住人口の増加を目指す。								
主要な事務・事業の概要	○テレワーク戦略実践会議				13千円					
	自然あふれるビジネスモデル事業の検証と進捗管理のため、商工関連団体、観光関連団体等で構成する委員会を3回開催									
	・委員謝金、費用弁償（1人）				13千円					
	○コーディネート業務委託料				8,173千円					
	(契約期間：令和3年9月1日～令和8年3月31日)									
	コンソーシアム運営業務、企業向け研修プログラムの企画運営、持続可能な収益モデルの確立、継続的な事業活動の発信等									
	◆企業研修プログラムの開発・実施									
	3プログラム造成、参加社29社、参加人数124人									
	◆新体制組織化に向けた計画策定・準備									
	コンソーシアムメンバーへのヒアリングを実施。それを踏まえて、新組織での運営方針やコンソーシアムメンバー・都市部パートナー企業との関わり方の整理を行った。									
					成果・課題	○都市部企業へのプロモーションや企業プログラムの開発・実施などの成果もあり、継続して本市に関わってもらえる企業ができたことや、本取組に関心のある事業者が訪問されるなど、人の流れに広がり生まれた。 ○コンソーシアムメンバーへのヒアリングを実施し新体制の運営方針を整理するとともに、これまでの取組成果を継承・発展させるための運営体制を構築することができた。				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部															
	項	01 商工費	11,000千円	11,000千円	0千円	100.0 %																	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	課	商工振興課															
	事業	07 機械金属業振興事業				9,000千円																	
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主 な 財 源	国補 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金) 5,500千円																			
目的	市内の機械金属関連事業者の異業種交流による新たな分野へのビジネス展開や販路開拓のほか、これからの機械金属業界の進むべき方向を展望した丹後機械工業協同組合の積極的かつ主体的な活動に対して補助金を交付し、本市の基幹産業である機械金属業の更なる成長発展を図る。																						
主要な事務・事業の概要	○機械金属業販路開拓等事業費補助金 9,000千円 【実施主体】 丹後機械工業協同組合 【補助率】 2／3以内 【実施内容】 ◆新分野・ビジネス開拓推進事業 ・機械技術要素展（東京・7月） 5社出展 ・第27回機械技術要素展（大阪・10月） 13社出展 ・メッセナゴヤ2025（名古屋・11月） 6社出展 ・機械技術要素展（福岡・12月） 6社出展 ・京都ビジネス交流フェア2026（京都・2月） 9社出展			○マテリアル共創ファクトリー整備事業費補助金 2,000千円 【実施主体】 丹後機械工業協同組合 【補助率】 2分の1以内 【事業内容】 基幹産業である機械金属業の競争力強化と持続的発展を図るため、丹後機械工業協同組合が新たに実施する素材供給・加工・配送 機能を備えた拠点の整備を支援するもの 【事業計画】 <table><tr><td>年度</td><td>事業</td><td>事業費</td></tr><tr><td>R7</td><td>調査・設計費</td><td>4,000千円</td></tr><tr><td>R8</td><td>施設整備費</td><td>112,420千円</td></tr><tr><td>R9</td><td>加工設備導入費</td><td>98,006千円</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>214,426千円</td></tr></table>					年度	事業	事業費	R7	調査・設計費	4,000千円	R8	施設整備費	112,420千円	R9	加工設備導入費	98,006千円	計		214,426千円
	年度	事業	事業費																				
	R7	調査・設計費	4,000千円																				
R8	施設整備費	112,420千円																					
R9	加工設備導入費	98,006千円																					
計		214,426千円																					
			成果・課題	○展示会への出展を支援することにより、産地ブランドのPR及び本市機械金属産業の事業分野の拡大を図ることができた。 ○施設整備については、令和9年度の設備完成に向けて調査・設計業務を支援した。 ○更なる業界の成長・発展を図るため、新規顧客の獲得や成長産業分野への進出を支援していく必要がある。																			

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	5,646千円	5,647千円	1千円	99.9 %		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	08 人材育成事業				5,700千円		
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源					
目的	「丹後・知恵のものづくりパーク」（北部産業活性化拠点・京丹後）の管理運営等に必要な経費の一部を負担することにより、事業の円滑な実施と適切な施設運営を促す。							
主要な事務・事業の概要	○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営事業 ・施設等管理運営負担金			5,646千円				
				成果・課題	○「丹後・知恵のものづくりパーク」の適切な管理運営に寄与した。 ○市内産業の活性化を図るため、引き続き「丹後・知恵のものづくりパーク」を維持する必要がある。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	14,752千円		14,764千円	12千円	99.9 %		課	商工振興課
	目	02 商工振興費								
	事業	11 大阪・関西万博連携事業								
まちづくり 27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源	国補	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)				1,849千円	
				府補	きょうと地域連携交付金				1,628千円	
				寄附金	ふるさと応援寄附金				2,200千円	
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				5,000千円	
目的	2025年大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現とSDGsの達成の趣旨に賛同し、健康長寿やものづくり、豊かな自然環境を活かした本市ならではの万博への参画に向けた取組を進め、万博閉幕後も継続して取り組める基盤を構築する。									
主要な事務・事業の概要	○京丹後市大阪・関西万博推進協議会の開催		138千円		○オープンファクトリーの開催					2,998千円
	本市の強みである健康長寿、産業等の資源を活かしたロードマップに基づき、進捗管理や助言など、取組を推進するため民間主導の協議会を開催				丹後の織物業、機械金属業、農業など多彩な産業の認知向上のため、通年型オープンファクトリーの取組を支援するとともに、イベント型オープンファクトリーを実施					
	・アドバイザー、委員謝金（延べ15人・会議数2回）		130千円		・地域一体型オープンファクトリー事業運営業務					1,498千円
	・アドバイザー、委員費用弁償		8千円		・丹後オープンファクトリー実行委員会負担金					1,500千円
	○第1回世界長寿サミットの開催		5,490千円		○大阪・関西万博会場内催事への参加					3,226千円
	開催期間 令和7年6月16日から19日				関西パビリオン京都エリア、メッセ会場などで本市の健康長寿や産業、観光について展示し、本市のPRを実施					
	場所 丹後文化会館及び峰山地域公民館 参加者 延べ550人				・万博首長連合負担金					971千円
	本市をはじめとする丹後地域において「幸福で健康な長寿社会」を目指し、世界11ヵ国から研究者や専門家を招きサミットを実施				・大阪観光局負担金					1,350千円
	・世界長寿サミット実行委員会負担金		4,769千円		・その他経費（普通旅費、駐車場使用料、有料道路通行料）					905千円
	・会場使用料		647千円							
・マイクロバス運転経費（バス運転委託料・燃料費）		74千円		成果・課題	○ロードマップにある取組に対して、大阪・関西万博推進協議会で進捗管理やアドバイスをもらい、本市における取組を推進した。また、万博レガシーについても確認し今後の本市の取組の方向性を協議会の中で示すことができた。					
○健康・美・長寿推進協議会負担金		700千円			○世界長寿サミットでは世界に向けて本市の健康長寿の秘訣を発信できた。また市民に対しても公開講座を行い機運の醸成を行うことができた。					
Webサイト構築・運営や大阪・関西万博への出席依頼、デジタルスタンプラリー等を実施					○オープンファクトリーを与謝野町と合同で実施し、丹後地域の事業者の魅力を多くの方に認知された。					
○万博会場映像放映負担金		2,200千円		○万博会場において、本市の出展を行うことで、産業や健康長寿などの認知の拡大を図った。						
大阪・関西万博会場内デジタルトラベルゾーンに本市観光PR動画を投影										

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	13,118千円		13,134千円	16千円	99.8 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額		
	事業	13 企業立地推進事業						18,626千円	課
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金 6,460千円						
目的	市の事業用地及び企業立地支援制度を広く周知するとともに、市内外企業等の立地を促進することで、雇用の創出・拡大及び地域産業への経済波及効果の創出を図る。								
主要な事務・事業の概要	○企業立地支援事業 12,938千円				○企業立地促進事業 180千円				
	・企業立地助成金 2,000千円 一定規模以上の投資を行い市民正規雇用者数を3人（中小企業は2人）以上増加させた「指定事業所」に対して、同雇用者数1人当たり100万円を限度として設備投資経費や人件費に充当できる助成金を交付 対象指定事業所：1社 ・企業立地奨励金 10,938千円 「指定事業所」に対し、新增設された事業所の投下固定資産（土地・建物・償却資産）に対し課税された固定資産税相当額を限度に奨励金を交付 対象指定事業所：5社				・企業情報検索システム使用料 40千円 ・旅費（企業誘致活動） 36千円 ・駐車場使用料・有料道路通行料 24千円 ・京都府市町村企業誘致推進連絡会議負担金 80千円 （京都府用地バンクの運営、展示会のブース出展、企業誘致説明会開催など）				
					成果・課題	○指定事業所に企業立地助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに、雇用の拡大と経営の安定化を図った。 ○引き続き、企業立地助成金や奨励金等、京丹後市に立地した際の優遇制度などを積極的に発信し、企業立地を推進するとともに、企業のニーズに対応した効果的な立地施策を検討する必要がある。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部			
	項	01 商工費	1,609千円		1,618千円	9千円	99.4 %					
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課			
	事業	14 工業団地維持管理事業					822千円					
まちづくり 27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源									
目的		市内工業団地の維持管理を行い、団地の環境美化に努めるとともに、魅力的な立地環境を維持する。										
主要な事務・事業の概要	○工業団地の維持管理経費		1,609千円									
	・ 入口看板照明電気料（赤坂工業団地）		12千円									
	・ 看板修繕、倒竹・倒木処理		816千円									
	・ 草刈等環境美化業務委託料		778千円									
	・ 水路及び水道敷地用地借上料（大山工業団地）		3千円									
	(参考) 工業団地別の内訳		(単位：千円)									
	団地名	面積 (㎡)	光熱 水費等	修繕料						委託料	土地 借上料	計
	①赤坂工業団地（峰山）	63,121	12	816						737	-	1,565
	②清水工業団地（大宮）	28,151	-	-						-	-	-
	③大山工業団地（丹後）	32,962	-	-						41	3	44
	④永留工業団地（久美浜）	41,489	-	-						-	-	-
	⑤谷工業団地（久美浜）	61,703	-	-						-	-	-
	合計		227,426	12	816	778	3	1,609	成果・課題		○市内5か所の工業団地の適切な維持管理及び環境美化に努めた。 ○いずれも合併前に整備された工業団地であり、繁茂した雑木や側溝・排水路の堆積物等を処理し、維持管理する必要がある。	

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	5,637千円		5,637千円	0千円	100.0 %		
	目	02 商工振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	15 創業支援事業					8,000千円		
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金 2,810千円					
目的	新規創業者への支援を行い、新規創業・新産業及び地域経済の活性化を図る。								
主要な事務・事業の概要	○創業等支援補助金 5,637千円 新規創業者への創業や空き店舗の活用に関する取組を支援 ・補助率：4分の1以内 ・補助上限 【創業支援事業】50万円 【空き店舗・空き工場等の活用促進事業】100万円								
	内訳	創業支援事業	3件	1,500千円					
		空き店舗・空き工場等の活用促進事業	5件	4,137千円					
					成果・課題	○新たに市内8事業者の創業を支援することができた。 ○空き店舗活用促進事業を通じて、遊休資産の利活用が促進された。 ○後継者不足等による廃業も増えていることから、創業に加え、事業承継への支援を一体的に行う必要がある。			

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	35,000千円		35,000千円	0千円	100.0 %		
	目	02 商工振興費					(参考)繰越予算額	課	商工振興課
	事業	15 創業支援事業（繰越）					35,000千円		
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な財源	国補 地域経済循環創造事業交付金 23,333千円					
目的	新規創業者や市内の空き店舗・空き工場等を活用した新たな取組への支援を行い、新規創業・新産業の創出及び地域経済の活性化を図る。								
主要な事務・事業の概要	○地域経済循環創造事業補助金 35,000千円								
	地域金融機関と連携し、地域資源を活用した民間事業者の新たなビジネスの立ち上げ（創業）を支援								
	対象事業	山陰海岸ジオパークを有効活用し京丹後をマリンレジャーの拠点にするために必要な宿泊施設整備事業							
	実施場所	網野町下岡、丹後町間人							
	総事業費	102,500千円							
	補助金額	35,000千円（うち国 23,333千円）							
					成果・課題	地域経済循環創造事業補助金により、新たに1件の宿泊施設が操業を開始した。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	139千円	139千円	0千円	100.0 %		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	17 商工業総合振興事業				606千円		
まちづくり 27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源					
目的	商工業総合振興条例に基づき、同条例に基づく施策の推進、評価、見直しを行う「京丹後市新経済戦略推進会議」を運営し、本市商工業の総合的な振興、活力のある地域経済の発展と豊かな市民生活の実現を推進する。							
主要な事務・事業の概要	○京丹後市新経済戦略推進会議			139千円				
	・ 委員報酬			56千円				
	第1回（R7.7.18） 14人 × 4千円 = 56千円							
	・ 費用弁償			83千円				
	・ 委員数18人（市外委員7人、市内委員11人）							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	60千円	70千円	10千円	85.7 %		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	50 商工振興一般経費				162千円		
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な 財源					
目的	地域経済・産業の振興、活性化を図るための活動等に必要な経費							
主要な事務・事業の概要	○職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料			42千円				
	○消耗品費（新聞購読料）			18千円				
					成果・課題	商工振興に関する事務事業等を円滑に行うことができた。		

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	1,137千円	1,171千円	34千円	97.0 %		
	目	03 繊維産業振興費				(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	01 産地振興事業				151千円		
まちづくり 27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源					
目的		丹後織物工業組合を主体とした販路開拓・人材育成・技術継承等に係る織物振興施策を支援するとともに、全国の自治体との連携の推進や地元織物関係事業者等による和装振興等に関する取組を支援することで、和装産業及びシルク産業の振興と魅力ある地域づくりを推進する。						
主要な事務・事業の概要	○丹後織物産地振興事業費補助金			1,019千円				
	産地の稼ぐ力の拡大、産地を支える人材育成に資するため、丹後織物工業組合が実施するTANGO OPEN CENTER事業を、京都府及び与謝野町と協調して支援							
	【総事業費】 6,086千円							
	【負担割合】 京丹後市17%、与謝野町8%、府50%、組合25%							
	【主な事業】 宿泊施設向け館内着開発、丹後織物振興展示会、万博関連事業							
	○全国和装産地市町村協議会（会員数：15市町）			10千円				
	・負担金			10千円				
	「日本のそめおり展」への出品（7月16日～8月18日：京都市）							
	○シルクのまちづくり市区町村協議会（32市区町村）			96千円				
	・職員旅費、有料道路通行料			96千円				
	総会、視察研修（10月10日：福島県川俣町）							
	○職員旅費、有料道路通行料			12千円				
	成果・課題	○丹後織物工業組合による織物求評会の開催等販路開拓の取組や、観光施設への波及を狙った丹後ちりめんウェアの開発取組を支援した。 ○全国の織物産地協議会ネットワークを通じて伝統繊維産業の全国的な景況、課題を把握することができた。また京丹後市の織物作品を全国和装産地市町村協議会主催の「日本のそめおり展」へ出品し、市内事業者、丹後ちりめんのPRを実施した。						

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	8,308千円		8,396千円	88千円	98.9 %		
	目	03 繊維産業振興費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	02 新シルク産業創造事業					8,458千円		
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源	国補	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)				3,470千円
				寄附金	ふるさと応援寄附金				4,000千円
				諸収入	市有自動車損害共済金				39千円
目的		京都工芸繊維大学との連携の下、取り組んできた新シルク産業創造に向けた基礎研究の成果を事業化へと繋げ、京丹後市新シルク産業創造館を拠点として、シルクを活用したビジネスモデルの構築を図り、地域産業の基盤強化と成長を促進する。							
主要な事務・事業の概要	○新シルク産業創造事業運営経費 7,635千円			○職員旅費 37千円					
	新シルク産業創造館において、本市が京都工芸繊維大学との連携の下取り組んできた研究の成果を活用し、新たな産業の創出に向けたビジネスモデルの構築を目指すこと及び当施設、設備の維持管理に関する業務を委託により実施			○公用車運行管理費（2台分） 502千円					
	・新シルク産業創造事業業務委託料 6,940千円 （期間：令和3年8月1日～令和8年3月31日）			・燃料費 114千円					
・新シルク産業創造館施設保守管理（通年） 695千円			・車検費用等その他 382千円						
施設機械警備業務委託料 79千円			・テレビ受信料 6千円						
電気設備保安管理業務委託料 359千円			○消耗品費、有料道路通行料、駐車場使用料 34千円						
消防設備保守点検業務委託料 77千円			・消耗品 22千円						
通信費（機械警備システム用） 70千円			・有料道路通行料 11千円						
修繕料（エアコン） 110千円			・駐車場使用料 1千円						
○新シルク産業創造事業アドバイザー謝金（1人3回） 100千円			成果・課題						
			○人工飼料の基礎開発が概ね完了し、飼料の安定的な製造体制及び安定した周年養蚕体制を構築した。 ○新シルク産業創造館の繭を原料とした生糸を流通させるべく丹後地域織物事業者と協議を進めるとともに、タンパク成分を活用した様々な分野への原料開発・製品開発が進められた。						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部												
	項	01 商工費	2,302千円		2,378千円	76千円	96.8 %														
	目	04 商工施設費					(参考)当初予算額	課	商工振興課												
	事業	01 峰山織物センター管理運営事業					2,514千円														
まちづくり27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源	使用料	公有財産使用料	130千円															
				使用料	峰山織物センター使用料	65千円															
目的		峰山織物センターを管理運営し、広く市民の利用に供することで、織物業の振興及び住民の福祉増進を図る。																			
主要な事務・事業の概要	○峰山織物センター運営管理経費			2,302千円		【延べ利用人数】 4,173人															
	・日直代行業務委託料			554千円		・利用目的別利用件数															
	・燃料、光熱水費（ガス代、電気代、水道料）			1,103千円		<table><tr><td>会議</td><td>教室</td><td>サークル活動</td><td>スポーツ・レクリエーション</td><td>その他</td><td>合計</td></tr><tr><td>90件</td><td>16件</td><td>219件</td><td>29件</td><td>6件</td><td>360件</td></tr></table>				会議	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	その他	合計	90件	16件	219件	29件	6件	360件
会議	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	その他	合計																
90件	16件	219件	29件	6件	360件																
	・施設警備委託料			45千円																	
	・駐車場用地借上料			306千円																	
	・維持管理消耗品、修繕料			96千円																	
	・消防設備・防火対象物点検業務委託料			138千円		・部屋別利用件数															
	・ごみ持込処理手数料			1千円		<table><tr><td>大会議室</td><td>教養室</td><td>第1・2研修室</td><td>合計</td></tr><tr><td>137件</td><td>52件</td><td>171件</td><td>360件</td></tr></table>				大会議室	教養室	第1・2研修室	合計	137件	52件	171件	360件				
大会議室	教養室	第1・2研修室	合計																		
137件	52件	171件	360件																		
	・通信運搬費（電話使用料）			47千円																	
	・テレビ受信料等			12千円																	
						成果・課題															
						○教室・サークル活動を中心に多くの施設利用があり、活動拠点として各種活動の推進に寄与した。 ○施設の老朽化が進んでおり、引き続き計画的に修繕等を行っていく必要がある。															

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	5,274千円		5,275千円	1千円	99.9 %		
	目	04 商工施設費					(参考)当初予算額	課	商工振興課
	事業	02 商工等指定管理施設運営事業					4,568千円		
まちづくり 27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源	使用料	公有財産使用料				100千円
目的 大宮織物ホール、弥栄機業センターの維持管理及び運営を指定管理者に委託し、施設の有効活用と施設利用者の利便性の向上を図る。				財産収入	土地建物貸付収入				246千円
				財産収入	建物貸付収入				62千円
				諸収入	弥栄機業センター火災保険料負担金				1千円
				諸収入	大宮織物ホール光熱水費負担金				131千円
主要な事務・事業の概要	○大宮織物ホール指定管理委託料（委託先：市商工会）			3,210千円	（参考）延べ利用人数 ・大宮織物ホール 2,760人 ・弥栄機業センター 2,600人				
	○大宮織物ホール土地借上料（2,369㎡）			1,204千円					
	○弥栄機業センター指定管理委託料（委託先：市商工会）			88千円					
	○修繕料（食品加工支援センター） ばっ気ブロワー 1台			772千円					
					成果・課題	○市内商工関連公共用施設の管理運営を指定管理者として京丹後市商工会が行うことで、施設利用者の各種活動の推進に寄与した。 ○施設の老朽化が進んでおり、引き続き、計画的に修繕等を行っていく必要がある。 ○大宮織物ホール、弥栄機業センターについては令和9年3月31日をもって指定管理期間が終了するため、施設の廃止、譲渡に向けた検討が必要である。			

予算科目目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	1,122千円		1,144千円	22千円	98.0 %			
	目	04 商工施設費					(参考)当初予算額	課	商工振興課	
	事業	50 商工施設一般経費					1,363千円			
まちづくり 27の施策	18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		主な 財源	諸収入	旧丹後商業活性化センター火災保険料負担金				61千円	
				諸収入	旧三津小火災保険料負担金				36千円	
				諸収入	弥栄機業センター光熱水費負担金				7千円	
目的	商工業の振興に関わる施設の維持管理を行う。									
主要な 事務・事業の 概要	○旧丹後商業活性化センター ・公衆トイレ管理委託料（委託先：間人区）			506千円	○旧豊栄小学校 ・修繕料（玄関扉）					35千円
	○弥栄機業センター電気代負担金			7千円						
	○御旅市場商店街駐車場（旧小谷医院跡地）外灯電気代			7千円						
	○旧三津小学校 ・グラウンド法面伐採委託料			341千円						
	○京都工芸繊維大学京丹後キャンパス ・修繕料（エアコン修理）			171千円						
	○あしぎぬ苑 ・管理委託料（委託先：鳥取老人会）			55千円 52千円	成果・課題	○商工業、織物業の振興を目的とした商工関連施設を適切に管理することができた。 ○老朽化が進んでいる施設について、引き続き計画的に修繕等を行っていく必要がある。				
	・水道使用料、開閉栓手数料			3千円						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	466千円		483千円	17千円	96.4 %			
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課	
	事業	01 美食都市のまちづくり推進事業					528千円			
まちづくり 27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進								
目的		「美食都市アワード2024」の受賞を契機として、受賞都市が集う美食都市フォーラムに参加し、美食都市「京丹後」の豊富で多彩な旬の食の魅力発信を行う。								主な財源
主要な事務・事業の概要	○美食都市フォーラム参加経費				62千円	○山形県鶴岡市（ユネスコ食文化創造都市）視察				61千円
	開催日：10月21日 場所：東京八重洲ミッドタウン					職員旅費（3人）				30千円
	受賞都市間の連携とネットワーク強化を図るため、フォーラムに参加					有料道路通行料				19千円
	職員旅費（2人）				57千円	燃料費（ガソリン代）				12千円
駐車場使用料、有料道路通行料				5千円	美食都市のまちづくりを推進するため、ユネスコ食文化創造都市に認定されている鶴岡市を訪問し、食文化を生かした地域ブランド化、人材育成及び推進組織の運営手法等について先進事例調査を実施した。					
○「美食×健康長寿」のまちづくり庁内勉強会				330千円						
「美食×健康長寿」のまちづくり職員研修業務委託				330千円						
実施日：2月18日（参加者18人）、2月19日（参加者14人）										
「美食」とそれに深く関わる「健康長寿」の取組について、庁内連携を強化し、共通認識を持ち、「美食×健康長寿」を市の強みとして一体的に生かしていくため、関係課を対象に庁内勉強会を開催した。										
○大学連携事務経費				13千円	成果・課題	○美食都市フォーラムで本市の美食と健康長寿の取組を発信し、「美食都市・京丹後」としての認知度を向上させることができた。 ○関係課職員を対象とした庁内勉強会を開催し、美食都市の理念や取組の方向性について共通理解を図ることができた。 ○食によるまちづくりの先進地である鶴岡市を視察し、先進事例や推進体制を学んだ。今後は、本市の具体的な事業展開につなげていく必要がある。				
駐車場使用料、有料道路通行料				13千円						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	9,687千円		9,727千円	40千円	99.5 %		
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課
	事業	02 山陰世界ジオパーク推進事業					10,016千円		
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府補 山陰世界ジオパーク推進事業補助金（1/2）1,000千円						
目的	山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの貴重な地質遺産を保護保全するとともに、教育や産業振興への活用を図る。 また、専門的な知識を有するガイドを養成し、山陰海岸ジオパークの様々な魅力を発信し、主要なジオサイトの整備を進めることで、より持続可能な「ジオツーリズム」を推進する。								
主要な事務・事業の概要	〇市ジオパーク情報センター（拠点施設）、ジオサイトの整備及び管理運営								
	5,897千円								
	・拠点施設運営管理（道の駅てんきてんき丹後内）	3,983千円							
	・ジオサイト保全管理（重機借上、草刈委託2回）	1,914千円							
	〇山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク普及啓発等								
	・パンフレット印刷費用、消耗品等	317千円							
〇京丹後市ジオパーク最大活用会議（3回分）		39千円							
・委員謝金、費用弁償（3人）	39千円								
〇ガイド養成講座講師謝金、費用弁償（講師謝金2人分）		32千円							
・10月2日、9日、16日、23日の4日間開催（参加者6人）									
〇山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金		3,402千円	成果・課題	〇ジオサイトの草刈りや海岸清掃を行い、ジオパークの保全活動につながった。 〇ガイド養成講座やスキルアップ講座の開催により、ジオパークの魅力を発信するガイド育成につながった。 〇ジオサイトの紹介パンフレットを増刷し、魅力発信を行った。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	2,564千円		2,672千円	108千円	95.9 %			
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課	
	事業	03 滞在型観光地づくり推進事業					3,072千円			
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金				560千円	
		諸収入		eバイク共同予約システム利用負担金				660千円		
目的	まちの活性化及び交流人口の拡大に寄与する各種大会等（コンベンション、スポーツ大会、イベント等）を主催する団体に対し補助金を交付することにより、宿泊客等を誘致する。 また、友好都市である木津川市との交流事業を実施し、通年滞在型観光地づくりを推進する。									
主要な事務・事業の概要	○観光業等活性化推進事業補助金				1,120千円	○システム保守管理料（eバイク予約管理システム保守管理）				660千円
	交付件数：6件（400千円×2件、80千円×4件）宿泊者数：2,662人 ※400千円：1,000～2,000人未満 80千円：100～500人未満					○全国道の駅連絡会会費				20千円
	○木津川市・京丹後市交流事業協議会負担金				692千円	○近畿道の駅連絡会会費				27千円
	【構成団体】 木津川市、京丹後市観光公社、京丹後市 【事業概要】 平成20年に締結した「京丹後市と木津川市との間の友好都市連携に関する盟約書」に基づく、本市の旅館等における宿泊補助事業を実施 【実施事業】 友好都市京丹後へ行こう！フレンドシップキャンペーン ・対象者：木津川市民（278人泊） ・補助内容：令和7年6月1日～令和8年3月30日宿泊分 宿泊補助 上限2,000円／人・泊 京丹後デジタルポイント 上限500円／人					○国民保養温泉地協議会負担金				45千円
						成果・課題	○観光業等活性化推進事業補助金は延べ2,662人の宿泊につながった。 ○フレンドシップキャンペーンは、木津川市との連携強化により、278人泊分の利用があり、京丹後デジタルポイント付与により、市内周遊観光、滞在型観光地づくりを推進できた。 ○eバイク予約管理システムの運用管理を参画事業者へ移管し、事業者主体による利用促進の取組を行う。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	19,262千円		44,337千円	25,075千円	43.4 %			
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課	
	事業	04 日本一の砂浜海岸づくり推進事業					19,487千円			
まちづくり 27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金			5,870千円		
				寄附金	ふるさと応援寄附金			3,000千円		
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金			3,000千円		
目的	「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」を遵守し開設する海水浴場開設者に、開設経費の一部を支援し、海水浴を通じた夏季の誘客を促進する。 山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを構成する京丹後の美しい砂浜海岸を保全し、一年を通じてにぎわう日本一の砂浜海岸づくりを推進する。									
主要な事務・事業の概要	○水難対策経費		1,687千円		○砂浜海岸の保全・活用事業費					7,936千円
	・水難啓発救助委託料		80千円		・一斉クリーン作戦事業費					526千円
	・消耗品費（ビブス・AEDパッド・救急旗）		205千円		・海水浴場清掃美化業務委託料					1,797千円
	・備品購入費		1,119千円		・ワンハンドビーチ事業（啓発ポスター作成）					69千円
	海水浴場用AED購入 4台				・いのち輝くビーチフェス					990千円
	・連絡所等修繕料等		277千円		・遊歩道堆積砂撤去委託料					495千円
	・水難救助船運航謝金		6千円		・遊歩道工事設計委託料（箱石湊宮遊歩道復旧工事）					3,762千円
	○海水浴場開設者支援事業補助金		9,344千円		・地域おこし協力隊活動業務委託料（共創型：1人）					297千円
	（連絡員業務に係る連絡所及び必要備品の設置並びに人件費）				参考					
	全15海水浴場のうち、14海水浴場が開設				繰越明許費を除いた最終予算額					19,337千円
				実質的な予算執行率					99.6 %	
				■令和8年度への繰越事業					25,000千円	
				・遊歩道復旧工事 令和8年10月完了予定					21,500千円	
				・遊歩道復旧工事監理業務 令和8年10月完了予定					3,500千円	
成果・課題	○海水浴場駐車場混雑情報配信システム		295千円		○府条例及びガイドラインに基づく安全・安心な海水浴場を実現し、夏季の誘客を下支えすることができた。 ○年間を通し、地元区等が実施する海岸清掃を支援したほか、小天橋遊歩道の維持管理を行うことで、砂浜海岸の良好な景観を維持した。 ○ビーチ一斉クリーン作戦により、市民等へ美しい砂浜海岸の価値と保全の大切さを啓発することができた。 ○砂浜海岸の保全について、環境配慮型の取組と発信が必要である。					
		・システム使用料		132千円						
		・機械器具借上料（情報配信用Wi-Fiルーター）		163千円						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	29,312千円		29,312千円	0千円	100.0 %			
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課	
	事業	05 イバ`ウト・宿泊促進強化事業					30,000千円			
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	繰入金 観光1万整備等促進実行調整費基金繰入金 29,312千円						
目的	観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、魅力ある観光地づくりに資するインフラ整備等の事業に対して補助金を交付し、本市の美しい自然や温泉等豊かな資源を活かした個性ある観光地づくりを推進する。									
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進事業補助金 29,312千円 (単位：千円)									
	事業区分	No.	事業名	事業費	補助金	事業区分	No.	事業名	事業費	補助金
	温泉源・配湯施設改修等事業	1	鳴き砂温泉ポンプ用インバーター取付工事	1,694	1,386	砂浜清掃用機械購入等事業	10	掛津区海岸清掃用クローラー購入事業	6,270	5,130
		2	夕日ヶ浦温泉泉源建屋改修等事業	4,455	3,645		11	遊区砂浜清掃用機械格納庫設置事業	3,625	2,966
		3	八丁浜小浜温泉ポンプ等交換事業	6,424	5,256		12	小天橋観光協会 海岸清掃用クローラー購入事業	1,403	1,147
		4	浅茂川浦島温泉送湯設備修繕事業	231	162		13	浜詰区海岸清掃用重機修繕事業	224	183
		5	北畿リゾート配湯管布設替工事	374	306	温泉施設等整備事業	14	客室展望風呂改修工事	11,820	5,000
		6	鳴き砂温泉貯湯タンク塗装工事	462	378		計（14件）		41,570	29,312
		7	鳴き砂温泉送水ポンプ配管等修繕工事	470	384	成果・課題				
		8	八丁浜小浜温泉ポンプ修繕及びインバーター取り付け工事	3,157	2,583					
		9	鴻の鶴温泉組合開閉器及び警報設備等取替工事	961	786					
					○温泉源の維持管理や海岸清掃用重機の購入、温泉施設等整備事業等、民間事業者等が行う設備投資を支援することで、観光資源の魅力の向上につながった。 ○引き続き、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を適正に管理・運用し、民間の設備投資を積極的に支援することで、魅力ある観光地づくりを進めていく必要がある。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	46,131千円		46,132千円	1千円	99.9 %		
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課
	事業	06 観光インフラ整備等促進実行調整費基金					130千円		
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	財産収入 観光インフラ整備等促進実行調整費基金利子収入 349千円					
目的	観光地として魅力ある環境整備を推進することを目的とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金への積立金。								
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金 45,782千円 （参考）令和6年度入湯税収入額 45,781,800円								
	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金（利子分） 349千円								
	（参考）基金の状況（単位：千円）								
	令和6年度末 現在高 ①	令和7年度中増減額		令和7年度末 現在高 ①-②+③+④					
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④		成果・課題				
123,363	30,643	349	45,782	138,851					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	1,938千円		1,995千円	57千円	97.1 %		
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課
	事業	07 観光ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ推進事業					2,405千円		
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金 440千円					
目的	各種イベントで広報活動を行い、観光資源や観光情報の発信を行うとともに、広域観光団体と連携を図り、域内周遊・滞在型観光の促進など観光客誘致に向けた取組を行う。								
主要な事務・事業の概要	○観光宣伝活動等事務経費 188千円 ・旅費、有料道路通行料等 63千円 ・キャンペーン景品、観光宣伝物品等 125千円 ○広域観光団体負担金 1,684千円 ・（一社）豊岡観光イノベーション（豊岡版DMO） 300千円 ・（公社）京都府観光連盟 390千円 ・北近畿広域観光連盟 894千円 ・（特非）ジャパン・フィルムコミッション 100千円 ○観光入込客数及び観光消費額調査費 31千円 市内宿泊施設を対象とした調査に係る返信用封筒（ミニレターパック）代				○「ミニポートピア京丹後10周年競走大会」入賞賞品【所管：政策企画課】 35千円 開催日：9月10日から9月14日まで 開催場所：尼崎ボートレース場 ・BTS京丹後開催10周年記念競走に係る大会入賞商品 35千円 （優勝カップ、丹後コシヒカリ米）				
					成果・課題	○広域観光団体と連携をして、観光資源や観光情報の発信を行い、域内周辺観光の促進や観光客誘致につながった。 ○フィルムコミッションパンフレットの校正、増刷を行い、観光資源や観光情報の認知度向上を図った。 ○撮影現場への立ち合いや全国のフィルムコミッション会員との情報共有により、京丹後の認知度向上につながった。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費	126,383千円		126,384千円	1千円	99.9 %						
	目	05 観光振興費					(参考)当初予算額	課	観光振興課				
	事業	08 地域総ぐるみ観光地づくり事業					134,709千円						
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	国補	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)			7,199千円					
目的	京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）に参画するとともに、同京丹後地域本部（京丹後市観光公社）の活動を支援することで、海の京都観光圏における京丹後市の観光振興を図る。 また、京丹後市観光立市推進会議を開催し、第4次京丹後市観光振興計画の進捗状況の検証等を行う。			府補	きょうと地域連携交付金			1,498千円					
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金			30,000千円					
主要な事務・事業の概要	○京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）運営負担金			○地域活性化起業人制度受入事業負担金						20,000千円			
	16,555千円			総務省「地域活性化起業人制度」を活用し、観光に関する専門的なノウハウや知見を有する大手旅行会社の社員を受け入れた。									
	府と北部7市町等で構成する海の京都DMOの運営に関する経費を負担し、「インバウンド」と「デジタルマーケティング」という2本柱を中心に、ファミトリップ誘致を始めとしたインバウンド推進、海の京都ブランドの醸成、着地型コンテンツ・プランの企画・造成・販売による地域事業者の付加価値創出等に向けた事業に取り組んだ。			令和5年4月1日～令和8年3月31日（1人・㈱日本旅行）									
	○京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部（京丹後市観光公社）			令和6年8月1日～令和9年7月31日（予定）（1人・日本航空㈱）									
	補助金			・配置部署：観光振興課[勤務場所：京丹後市観光公社]									
	88,017千円			・活動内容：ヘルスツーリズム、インバウンド・首都圏誘客キャンペーン等									
	事業費	国内外観光プロモーション・マーケティング事業		31,019千円		○国際交流員（CIR）任用経費（1人）						1,614千円	
		インナープロモーション事業		1,899千円		京丹後市観光公社へ派遣（令和7年8月まで）							
		「海の京都」認定観光案内所事業		1,808千円		報酬、社会保険料、雇用保険料、研修旅費						1,614千円	
		受託業務事業（みらいにつなぐ観光振興事業等）		24,795千円									
海の京都エリア活性化事業（6支部活動補助金）		5,315千円											
小 計		64,836千円											
管理費	本部・支部の事務経費及び支部職員の人件費等		23,181千円										
○京丹後市観光立市推進会議委員報酬・費用弁償			197千円										
・全体2回（1月27日、3月19日）													
成果・課題				OSNS等を活用したデジタルプロモーションの実践と、各種キャンペーンの実施により京丹後の認知度向上を図った。									
				○文化財（古墳）を活用した新たな観光コンテンツを造成した。									
			○地域活性化起業人制度により、民間企業の専門人材を観光公社に派遣し、誘客キャンペーン等を実施した。										
			○支部間の統合や本部への機能集約について検討を進める必要がある。										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	9,639千円	10,064千円	425千円	95.7 %		
	目	06 観光等施設費				(参考)当初予算額	課	観光振興課
	事業	01 海浜等施設管理事業				10,706千円		
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源					
目的	海水浴場に設置されているトイレ、シャワー、更衣室等の観光関連施設の清掃、維持管理を行うことにより、観光客等の利便性及び快適性の向上を図る。							
主要な事務・事業の概要	○海浜等施設管理経費〔一部、各町域の市民局へ配当〕			9,639千円				
	・管理用消耗品費			64千円				
	・光熱水費			2,821千円				
	・修繕料			675千円				
	・手数料（し尿処理・浄化槽法定点検等）			487千円				
	・海水浴場清掃美化業務委託料			2,271千円				
	・施設清掃業務委託料			528千円				
	・浄化槽管理委託料			2,223千円				
	・海浜施設維持管理業務委託料			406千円				
	・使用料及び賃借料（土地借上料）			164千円				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部											
	項	01 商工費	14,013千円		14,129千円	116千円	99.1 %													
	目	06 観光等施設費					(参考)当初予算額	課	観光振興課											
	事業	02 自然公園管理事業					15,136千円													
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府委 国立公園・国定公園管理委託金 12,100千円																
目的	京都府から管理委託を受けた国立公園及び国定公園区域内にある公園施設等の適正な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び活用を促進する。																			
主要な事務・事業の概要	山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府管理の自然公園施設（京都府から本市へ管理委託され、市は地元区等に再委託）の維持管理及び環境保全を行った。																			
	○自然公園施設等管理経費〔各町域の市民局へ配当〕		14,013千円																	
	・自然公園施設等管理委託料（12園地・4遊歩道）		6,658千円																	
	・自然公園内ごみ収集委託料（5園地）		2,653千円																	
	・トイレ清掃・水道施設管理、バイオトイレ維持管理委託料		1,480千円																	
	・し尿汲取手数料（7園地）		1,202千円																	
	・修繕料（経ヶ岬受水槽、葛野分電盤）		203千円																	
	・消耗品費、光熱水費（10園地）		1,657千円																	
	・土地借上料（後ヶ浜園地トイレ用地、経ヶ岬園地駐車場用地）		160千円																	
成果・課題	【参考】																			
	<table><tr><th>自然公園名</th><th>町名</th><th>園地等の名称</th></tr><tr><td rowspan="2">山陰海岸国立公園</td><td>久美浜町</td><td>かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石</td></tr><tr><td>網野町</td><td>浜詰、夕日ヶ浦、五色浜</td></tr><tr><td rowspan="2">丹後天橋立大江山国定公園</td><td></td><td>小浜、掛津、遊、三津</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬</td></tr></table>								自然公園名	町名	園地等の名称	山陰海岸国立公園	久美浜町	かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石	網野町	浜詰、夕日ヶ浦、五色浜	丹後天橋立大江山国定公園		小浜、掛津、遊、三津	丹後町
自然公園名	町名	園地等の名称																		
山陰海岸国立公園	久美浜町	かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石																		
	網野町	浜詰、夕日ヶ浦、五色浜																		
丹後天橋立大江山国定公園		小浜、掛津、遊、三津																		
	丹後町	後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬																		
		○観光客に安全で快適な環境を提供するため、自然公園施設等の維持管理及び環境保全を実施した。 ○自然公園に設置しているトイレの適切な維持管理により、快適な利用環境を提供することができた。 ○改修の必要な施設について、常時現状把握を行い、京都府へ早急な対応を求めていく必要がある。																		

予算科目	款	07 商工費		本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	商工観光部	
	項	01 商工費		152,075千円		152,108千円		33千円		99.9 %				
	目	06 観光等施設費								(参考)当初予算額		課	観光振興課	
	事業	03 観光等指定管理施設運営事業								155,352千円				
まちづくり 27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な 財 源	諸収入		弥栄あしぎぬ温泉電気代等負担金		10,905千円					
					市債		過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債7ト）		65,400千円					
目的		観光関連施設の管理運営を指定管理者に委託し、施設や設備等の適切な維持管理を行うことで施設の効率的かつ効果的な管理運営と利用者へのサービス向上を図る。												
主要な 事務・事業の 概要	○委託料				138,179千円		○需用費				10,979千円			
	・電気設備保守（弥栄あしぎぬ温泉）				233千円		・光熱水費（あしぎぬ温泉電気代等）				10,672千円			
	・雑木伐採委託料（稲葉本家、小町公園）				766千円		・修繕料（スイス村スノーモービル、バンガロー屋外配線）				307千円			
	・特殊建築物定期報告業務委託料				1,650千円		○役務費				941千円			
	（はしうど荘、よし野の里、あしぎぬ温泉、森林公園スイス村）						・水質検査等手数料				913千円			
	・指定管理委託料				135,530千円		・ごみ持込処理手数料（道の駅てんきてんき丹後 藤棚処分）				16千円			
	施設名		金額		施設名		金額		・その他（消防設備設置届出書作成、水道開閉栓手数料）				12千円	
	天女の里		11,537千円		よし野の里		15,796千円		○使用料及び賃借料				1,956千円	
	小町公園		3,967千円		森林公園スイス村		37,875千円		・土地借上料（施設用地8か所）				1,151千円	
	道の駅てんきてんき丹後		16,535千円		あしぎぬ温泉		20,723千円		・機械器具借上料（AED16台）				805千円	
	はしうど荘		10,005千円		豪商「稲葉本家」		6,373千円		○ 原材料費				20千円	
	碓高原ステーキハウス		5,034千円		かぶと山公園		7,685千円		・原材料費（道の駅てんきてんき丹後 整地用真砂土）				20千円	
					合計		135,530千円		成果・課題		○民間事業者のノウハウを活かし、観光施設の適切な運営と維持管理を行うことができた。 ○光熱費、人件費等が高騰する中、施設の運営が安定して継続できるよう支援を行った。 ○老朽化が進む施設において、安全性・快適性が確保できるよう、指定管理者と情報を共有しつつ、適切に維持管理を行っていく必要がある。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部	
	項	01 商工費	25,419千円		25,443千円	24千円	99.9 %			
	目	06 観光等施設費					(参考)当初予算額	課	観光振興課	
	事業	04 観光等指定管理施設大規模改修事業					22,059千円			
まちづくり 27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な 財 源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金				10,000千円	
				諸収入	市有建物損害共済金				255千円	
				市債	観光施設整備事業債（過疎債）				1,700千円	
目的	観光関連施設を適切に維持管理することにより、観光客等を含む利用者の利用促進及び憩い・交流の場に寄与する環境整備を図る。									
主要な 事務・事業の 概要	○修繕料		4,778千円	○備品購入費						7,528千円
	・よし野の里 本館及び浄化槽横トイレ修繕ほか		673千円	・森林公園スイス村 プロジェクター等購入 1台						2,640千円
	・天女の里 コテージ雨樋修繕ほか		251千円	・天女の里 コテージエアコン購入 2台						299千円
	・はしうど荘 客室ベランダ手摺修繕ほか		2,009千円	・豪商「稲葉本家」 調理室冷凍庫購入 1台 ほか						123千円
	・森林公園スイス村 高原浴場外壁修繕ほか		1,494千円	・あしぎぬ温泉 水中ポンプ購入 1台						4,466千円
	・あしぎぬ温泉 泉源電極他修繕		108千円	○調査委託料						517千円
	・碓高原ステーキハウス 内部床修繕		161千円	・よし野の里 漏電調査及び源泉井戸ポンプ調査						
	・かぶと山公園 虹の家 マンホール蓋枠交換		82千円	○手数料						18千円
	○工事請負費		12,578千円	・天女の里 コテージエアコン廃棄						
	・あしぎぬ温泉 泉源水中ポンプ取替工事		1,551千円	・豪商「稲葉本家」 冷凍庫廃棄						
	・あしぎぬ温泉 高圧受電設備更新工事		3,069千円	成果・課題	○必要な修繕等を実施することにより、公共施設を適切に保全するとともに、利用者の安全性、利便性及び快適性を確保することができた。 ○老朽化による不具合箇所を早期発見し、予防措置を講じることにより損傷の拡大を防ぐ必要がある。					
	・あしぎぬ温泉 温泉棟ロビーエアコン改修工事		2,476千円							
	・道の駅てんきてんき丹後 軒天井塗装工事		704千円							
	・丹後温泉はしうど荘 受電設備ケーブル更新工事ほか		1,353千円							
	・よし野の里 漏電等改修工事ほか		2,220千円							
	・かぶと山公園 鋼管柱取替工事		1,205千円							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部							
	項	01 商工費	57,196千円		61,143千円	3,947千円	93.5 %									
	目	06 観光等施設費					(参考)繰越予算額	課	観光振興課							
	事業	04 観光等指定管理施設大規模改修事業（繰越）					61,143千円									
まちづくり 27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な 財源	市債 観光施設整備事業債（合併特例債） 54,300千円												
目的		観光関連施設を適切に維持管理することにより、観光客等を含む利用者の利用促進及び憩い・交流の場に寄与する環境整備を図る。														
主要な 事務・事業の概要	○天女の里 トイレ洋式化改修工事 6,629千円 天女の里交流施設、キャンプ場トイレ棟の和式便器を洋式化し、施設の洋式便器数を増やし、安全性と快適性の向上を図った。 【交流施設】和式4基 → 洋式3基 【キャンプ場】和式2基 → 洋式2基			○よし野の里 温泉棟ウッドデッキ改修工事 9,716千円 温泉棟の海側に設置してある屋外デッキテラス（木製）の腐食が進行しているため、安全に利用できるようデッキの改修を行った。												
	<table><tr><td>設計監理委託料</td><td>2,265千円</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>4,364千円</td></tr></table>			設計監理委託料	2,265千円	工事請負費	4,364千円	<table><tr><td>設計委託料</td><td>792千円</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>8,924千円</td></tr></table>					設計委託料	792千円	工事請負費	8,924千円
	設計監理委託料	2,265千円														
	工事請負費	4,364千円														
	設計委託料	792千円														
工事請負費	8,924千円															
○ろ過循環塩素濃度監視装置増設工事 16,280千円 温泉施設の運営管理基準に沿った温泉浴槽の塩素濃度を保つため 温泉ろ過循環設備に塩素濃度監視装置を設置した。			○よし野の里 エアコン設備改修工事 24,571千円 よし野の里の温泉棟、宿泊棟のエアコンを更新することで、利用者の快適性の向上を図った。													
<table><tr><td>あしぎぬ温泉</td><td>7,700千円</td></tr><tr><td>よし野の里</td><td>8,580千円</td></tr></table>			あしぎぬ温泉	7,700千円	よし野の里	8,580千円	<table><tr><td>設計監理委託料</td><td>1,056千円</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>23,515千円</td></tr></table>					設計監理委託料	1,056千円	工事請負費	23,515千円	
あしぎぬ温泉	7,700千円															
よし野の里	8,580千円															
設計監理委託料	1,056千円															
工事請負費	23,515千円															
			成果・課題	トイレの洋式化、温泉施設の塩素監視装置の設置、よし野の里のウッドデッキ改修、エアコン改修を実施し、施設利用者に安全で快適な施設環境を提供できた。												

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部		
	項	01 商工費	19,838千円		20,401千円	563千円	97.2 %				
	目	06 観光等施設費					(参考)当初予算額	課	観光振興課		
	事業	50 観光等施設一般経費					16,624千円				
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	府委	碓高原畜産展示資料館管理委託金			1,036千円			
目的	観光関連施設を適切に維持管理することにより、観光客等を含む利用者の安全と快適性を確保し、交流・憩いの場としての環境づくりを促進する。 また、運営を終了した観光施設及び新たな活用の方法やあり方の検討を進める。			繰入金	観光11万整備等促進実行調整費基金繰入金			1,331千円			
				諸収入	丹後温泉電力料			165千円			
				諸収入	丹後温泉泉源管理負担金			307千円			
				諸収入	公共井戸ホソノ電力費			20千円			
			諸収入	山内陶芸作業棟光熱水費負担金			113千円				
主要な事務・事業の概要	○施設管理委託料（清掃、草刈り、水質検査、機械警備等）				10,793千円		・工事請負費			3,561千円	
	地域名		施設名					丹後温泉源水中ポンプ取替等工事			3,069千円
	峰山地域		羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園等					看板撤去工事（3か所）			492千円
	大宮地域		平地地藏公園、ブナハウス内山、おおみや小町温泉源等					・備品購入費（丹後温泉水中ポンプ入替 1台）			1,331千円
	網野地域		子午線塔、静の杜、離湖公園、霧降の滝公園等					○公営プールのあり方検討会議（委員10人、4回開催）			736千円
	丹後地域		経ヶ岬・碓高原水道施設、碓高原畜産展示資料館等					・需用費 アンケート用封筒 発送2,400通			19千円
	久美浜地域		東山公園、城山公園、山内施設等					・通信運搬費 アンケート返信703通 料金受取人払			322千円
	○その他の維持管理経費				8,309千円		・報償費 委員謝金			270千円	
	・消耗品費・原材料（施設管理用消耗品等）				118千円		・費用弁償 委員交通費			125千円	
	・燃料費（離湖管理棟灯油代）				5千円		成果・課題			○市内の公園、トイレ、休憩所等の公共用施設を適切に維持管理することにより、市民、観光客等の憩いの場としての安全で快適な施設環境を提供できた。 ○公営プールのあり方検討会議4回及び、視察の実施により、詳細な提言が得られた。	
	・光熱水費（トイレ等電気料、上下水道使用料等）				1,464千円						
	・修繕料等（崇山森林公園 展望台手すり修繕等）				639千円						
	・通信運搬費（離湖公園電話料等）				32千円						
	・手数料・保険料（し尿汲取手数料・建物火災保険等）				261千円						
	・土地借上料（ブナハウス内山用地等）				869千円						
	・負担金（おおみや小町温泉温泉源スタンド電気料負担等）				29千円						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部
	項	01 商工費	6,767千円		11,374千円	4,607千円	59.4 %		
	目	06 観光等施設費					(参考)繰越予算額	課	観光振興課
	事業	50 観光等施設一般経費（繰越）					11,374千円		
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進		主な財源	市債 観光施設整備事業債（合併特例債） 6,100千円					
目的	下水道の供用開始に伴い、施設の下水道接続等の改修工事を実施するとともにトイレの洋式化を行う。								
主要な事務・事業の概要	○離湖公園管理棟 下水道接続改修工事 6,767千円								
	・工事監理委託料 440千円								
	・工事請負費 6,062千円								
	・し尿汲取手数料 4千円								
	・施設清掃委託料 78千円								
	・仮設トイレ借上料 33千円								
	・下水道加入分担金 150千円								
	【トイレの水洗化】								
	男子用：小便器2基、和式便器1基 → 小便器2基、洋式便器1基								
	女子用：和式便器2基 → 洋式便器2基								
					成果・課題	公共下水道の供用開始に伴い、トイレの下水道への接続を行うとともに、トイレの洋式化を実施することにより、市民、観光客の利便性、快適性の確保を図った。			

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市民環境部	
	項	01 保健衛生費	26,631千円		26,637千円	6千円	99.9 %			
	目	07 環境衛生費					(参考)当初予算額	課	生活環境課	
	事業	08 海岸漂着物対策推進事業【再掲】					34,306千円			
まちづくり27の施策		23 次世代への美しい自然環境の継承	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金				10千円	
				府補	海岸漂着物地域対策推進事業補助金（8/10・10/10）				24,734千円	
目的	海岸における良好な景観及び環境の保全を図るため、京都府の補助事業を活用し、地区等に委託して海岸漂着物の回収及び処理を行うとともに、発生抑制対策（ソフト事業）を実施することで、海洋汚染及び海岸漂着物対策を推進する。									
主要な事務・事業の概要	○海岸漂着物処理手数料		13,673千円		○解体処分等作業委託料（廃船の解体・処分）					1,496千円
	・海岸漂着物処理量 162.83t				○海岸漂着物ボランティア清掃支援					32千円
	○環境保全負担金		163千円		・回収漂着物運搬委託料（10件）					
	・市外の処理施設で処理する場合に必要な受入先自治体への負担金				○海岸清掃及び環境学習					316千円
	○海岸漂着物回収処理委託料（地元区、地元団体）		10,951千円		・バス運転委託料（市内中学校1年生 389人対象）					
	・市管理海岸分（6海岸）		3,992千円							
	・府管理海岸分（11海岸）		6,728千円							
	・漂流ごみ（3漁港）		231千円							
	区分（担当課）		海岸名称							
	市管理海岸（観光振興課）		【網 野】 琴引浜（掛津、遊） 【丹 後】 砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸 【久美浜】 蒲井海岸							
	府管理海岸（観光振興課）		【網 野】 浅茂川海岸、浜詰海岸、小浜海岸 【丹 後】 後ヶ浜海岸、上野平海岸（上野、平）、久僧海岸 【久美浜】 箱石湊宮葛野海岸							
	府管理海岸（管理課）		【丹 後】 上向下向海岸、此代海岸、尾和海岸、岩田海岸							
	漂流ごみ（海業水産課）		【網 野】 浜詰漁港、浅茂川漁港 【丹 後】 間人漁港							
成果・課題	○市内17海岸及び3漁港での清掃活動及び、ボランティア清掃支援事業の実施により、市内の海岸美化を促進し、景観保護と環境保全に努めた。 ○海岸ごみ拾いイベント等啓発事業の実施により、海ごみ問題の現状や課題を知る機会を提供し、環境保全の意識醸成につながった。 ○事業継続のための財源確保に向けて、引き続き、国及び府に対して支援を求めている必要がある。									